

みんなで考える地域福祉連続講座 第5回

## 紫波町オガールプラザ視察

補足：オガールプロジェクトの概要・成果と可能性



2015年11月22日

合同会社地域計画・代表

熊谷智義

## 内 容

1. オガールプロジェクトの概要  
(経過、概要、施設構成等)

2. まちづくりの視点からみた  
成果と可能性

## データ

- WEB検索:オガールプロジェクト(<http://ogal-info.com>)ほか。
- 文献: CiNii検索「紫波町 オガール」10文献ほか。
- 聞き取り: 紫波町経営支援部企画課公民連携室(2015/11/2)。
- 関わり: 図書館を創り育てる会、NPO法人紫波文化交流の活動に参加(会員、副理事長)。

3

## 1. オガールプロジェクトの概要

- \* 紫波町は、JR紫波中央駅前の民有地10.7haを中心とした都市整備を図るため、町民や民間企業の意見を聞き、2009年3月に議会の議決を経て「紫波町公民連携基本計画」を策定しました。
- \* この計画に基づき、2009年度から始まった紫波中央駅前都市整備事業が「オガールプロジェクト」です。

4

## これまでの経過

- 1998年7月 紫波町紫波中央駅前に用地(10.7ha)購入
- 2001年8月 市民運動「図書館を考える会」活動開始  
(後に「図書館を創り育てる会」に改称)
- 2007年4月 東洋大学と協定、公民連携手法の事業方針
- 2007年4月 可能性調査(～8月)
- 2007年11月 紫波町PPP推進協議会
- 2009年3月 紫波町公民連携基本計画策定
- 2009年4月 オガールプロジェクト着手
- 2009年6月 オガール紫波(株)設立
- 2010年3月 デザインガイドライン策定
- 2011年4月 県フットボールセンター開場
- 2012年6月 オガールプラザオープン
- 2012年8月 紫波町図書館開館

5

## 公民連携に取り組んだ背景

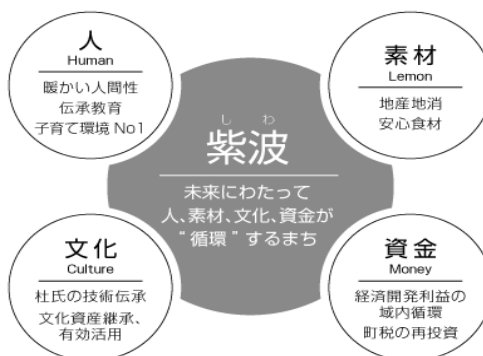
- 公共施設の課題(役場庁舎建替・図書館新設)
- 紫波中央駅前未利用町有地10.7haの活用
- 財政問題
- キーパーソンの存在、東洋大学との協定
- 前町長の強いリーダーシップ
- PFI等事業の実績
- 公民連携が自立計画と合致

資料:紫波町経営支援部企画課公民連携室資料より抜粋

6

## オガールプロジェクトは・・・

- 都市と農村の新しい結びつきを創造します。
- 「暮らす、働く、学ぶ、集う、憩う、楽しむ」  
 ……新しく豊かで魅力的な持続的に発展する街を目指します。



7

## 開発テーマ

1. 農村(田園)と都市(街)が共生するまち
  - 紫波の農作物や農村の良さに触れることができ、そして都市機能が集積された、使いやすく人が集うまちを目指しています。
2. 若者、高齢者、すべての人が希望を持ち、安心して暮らせるまち
  - 住環境が充実し、そして多様な雇用が生まれ、若者が学び・働き・挑戦できる環境が充実したまちを目指しています。
3. 人にも地球にも「やさしい」まち
  - 環境への配慮を実践し、そしてすべての人にやさしい街を目指しています。
4. 優れたデザインの採用
  - 目に見えるデザインは基より、ライフスタイルのデザインを大事にします

8

## 紫波町公民連携基本計画

### 開発理念

- 都市と農村の暮らしを「ゆしみ」、環境や景観に配慮したまちづくりを表現する場とします。

### 整備方針

- 民間のアイデアを用いて紫波中央駅前町有地を整備することによって、町の中心部が賑わう仕組み、町全体に経済活動が波及する仕組みをつくり、持続的に発展するまちを目指します。

9

## 施設の構成

- オガールプラザ:『官民複合施設』
- オガール広場
- オガールベース:『民間複合施設』
- オガールタウン(宅地分譲57区画)
- 紫波町新庁舎
- 岩手県フットボールセンター
- サン・ビレッジ紫波(アリーナ、会議室兼卓球室)
- パーク&ライド駐車場

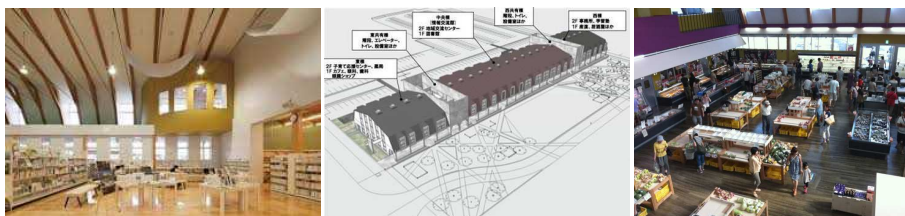


10

## オガールプラザ

10の民間テナント(飲食・物販・医療・教育系)と、紫波町が運営する情報交流館(図書館・地域交流センター)で構成される『官民複合施設』

- \* 所在地: 岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前2丁目3-3
- \* 構造: 木造一部鉄筋コンクリート造 2階
- \* 延床面積: 5826.02㎡
- \* 竣工: 2012(H24)年6月
- \* 設計・施工: オガールプラザ整備事業特定建設工事共同企業体 / (株)近代建築研究所, (株)中居敬一都市建築設計, 佐々木建設(株), 橋建設(株)
- \* 建築主: オガールプラザ(株)
- \* 運営: オガールプラザ(株), 紫波町



11

## 2. まちづくりの視点からみた成果と可能性

### \* 2013年度の利用者数

オガール全体 83.6万人

このうち図書館は、31.2万人

(紫波マルシェ: 2年間で50万人)



- \* 図書館の活動・役割を中心に、成果と可能性について、整理を試みる(①～⑤)。

12

## ①市民参加と図書館づくり

- 図書館を創り育てる会(10余年)
    - \* 学習活動、啓発、町議会への働きかけ
    - \* 実態調査(近隣図書館の利用)
    - \* 司書講習の受講、資格取得
    - \* 計画づくりへの参加(WSへ発展)
- ↓ ↑
- NPO法人紫波文化交流設立・業務受託
    - \* 利用者と運営する側の違い(限界?)
    - \* 「協働型」の経験不足 → 撤退

何らかの“発展型”での市民参加の可能性は？

## ②人と人とのつながりの場

- 連携イベントの展開
    - \* オガール広場「ビアフェスタ」+ 読み聞かせ
    - \* 食育「絵本の中のクッキング」、食の匠の料理
  - 来館者とのコミュニケーションの重視
    - \* 地域情報の収集、連携展示の実施
    - \* レファレンスでNPO活動を紹介
  - 企画展示で町内職人のおすすめ図書紹介
- ◎『図書館基本構想』のミッションの一つ「場を提供し人  
のつながりを促す」を具現化

### ③赤ちゃん～高齢者の居場所

- お母さんと赤ちゃん
  - \* 朝一番のお客さん、イクメンの利用
  - \* 子育て応援コーナー(～1歳～利用)
  - \* 基本は児童サービス
- 夜のとしよかん
  - \* 働く世代や大人対象のトークイベント
- 多様な雑誌へのニーズ
  - \* 退職元気高齢者、現役世代、主婦等

### ④町の課題解決に向けて

- 産業支援／農業支援
    - \* 関連蔵書、農業関連図書の検索利用
    - \* 農業支援を考える会、企画展示
    - \* 生産者の集う「こんびりカフェ」
    - \* 産直施設と連携 レシピ本POP・展示
- ↓
- 起業・創業支援等、関連機関や専門家との連携により、一層の充実が可能



## ⑤ 広がる図書館へ

- 交流館(集会・イベント機能)との連携
  - \* イベント連携＋情報の共有・連携へ
- 企画展の実施
  - \* 資料の収集・展示、関係者との交渉
- 町長部局の補助執行
  - \* 役場各課との関わり、情報の収集と提供
- 町内への情報受発信～まちづくり
  - \* 多様なネットワーク(生産者・職人)

## 参考文献等

- [1] 浅沼新(2014)「地域を元気にする“公民連携”」,2014年3月18日,地域密着型金融に関するシンポジウム資料.
- [2] 鎌田千市(2015)「紫波中央駅前都市整備事業～オガールプロジェクト～」,2015年2月24日,日欧政策セミナー資料.
- [3] 工藤巧(2015)「オガールと共にオガル図書館」,図書館雑誌,109(2),pp.92-93.
- [4] オガールプロジェクト<オガール紫波公式サイト <http://ogal-info.com>>
- [5] 岡崎正信(2015)「岩手県紫波町のオガールプロジェクト」,国づくりと研修,133,pp.18-21.
- [6] 手塚美希(2014)「まちも人もオガール:紫波町図書館誕生から2周年まで」,みんなの図書館,448,pp.17-26.